立地件数、面積、県外企業立地件数で3冠王

圏央道の整備を追い風に

経済産業省が発表した2013年の工場立地動向調査によると、茨城県は立地件数、面積、県外企業立地件数で全国一位となり3冠王に輝いた。過去10年間を見ても、茨城県の立地面積は断トツの一位で、立地環境の良さを裏付けている。15年度にも全面開通する見通しの首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の県内区間の整備を追い風に、圏央道と常磐自動車道（常磐道）を結ぶ〝圏央道の北の玄関〟ともいえるつくばジャンクション（JCT、茨城県つくば市）の東西両区間で県外企業の進出が相次いでいる。

つくば下妻第二工業団地

自動車関連進出相次ぐ

つくばJCT以西では、つくば中央インターチェンジ（IC、同つくば市）―境古河ICが15年度開通予定で、今年度はつくば中央IC―坂東IC間で、道路設計、環境調査、用地買収などを実施する見通し。坂東IC以西では、日野自動車古河工場（同古河市）に近い境古河IC―五霞IC間は今年度の開通に向けた諸工事が計画されており、インフラ整備が着実に進む。

茨城県から熱いラブコールを受けた日野自は、古河工場の本格稼働を当初の20年から16年内に大幅に前倒しした。現在稼働中のKD工場に加え、今年中にアクスルなどの基幹部品製造工場、15年に車両組立工場の稼働を順次開始する。

同社が古河工場で12年5月に大・中型トラック向けの輸出梱包業務を開始して以降、清水工業（東京都福生市）や国産機械（東京都日野市）など関連企業の県内進出が進んでいる。

なかでも排気ガス浄化装置や排気管、触媒装置を供給する三五関東（茨城県下妻市）が本社機能を東京都日野市から移転。「日野自動車が古河に工場進出されることに歩調を合わせた」（恒川幸三三五コーポレーション社長）という。このほど、つくば下妻第二工業団地（茨城県下妻市）に本社工場を完成し操業を開始した。加工組立工場やプレス工場などを建設、総投資額は61億円。日野自古河工場への部品供給のほか、他自動車メーカーへの部品製造拠点とすることで、物流コストを削減するとともに、リードタイムの短縮を図る。

6月にいすゞ自動車向け、8月に日産自動車向け、12月に富士重工業向けの生産ラインを順次移管し、15年8月までに工場敷地の約7割を各生産ラインで埋め、体制を整える計画だ。橋本昌茨城県知事は「自動車産業の集積に向け、県としても全力で誘致に取り組んだ」と歓迎の意を表している。

三五関東は日野自動車の古河進出に歩調を合わせ本社機能を移転

阿見東部工業団地

千葉へのアクセス向上

つくばJCT以東では、圏央道の開通を見込み、コメリが江戸崎工業団地（茨城県稲敷市）内に「コメリ茨城流通センター」を開設。今年4月に稲敷IC（同）―神崎IC（千葉県神崎町）間が開通。「今後、圏央道が東関東自動車道（東関東道）に接続されれば、千葉へのアクセスが格段に向上する」（コメリ）とする。

神崎IC―大栄JCT（千葉県成田市）間の開通が今年度内に決まり、いよいよ圏央道と東関東道と接続される。

雪印メグミルクは、阿見東部工業団地（茨城県阿見町）に製造棟、物流棟をそれぞれ完成し、現在、順次移設作業を進めている。移設されるのは横浜チーズ工場、関西チーズ工場、厚木マーガリン工場で製造するプロセスチーズとマーガリンで、3月に一部稼働を始めた。同社として東日本地区最大規模の工場で、3工場は移設完了後に閉鎖される。新工場はプロセスチーズとマーガリン類を生産する主力生産拠点となる。今年度下期には本格稼働する予定。

新工場は温度管理や衛生管理を完備した最新の生産ラインに加え、原料の保管倉庫、製品を首都圏各地に輸送する前の一次保管倉庫なども一体で整備。一気通貫体制にすることで全体のコスト競争力を強化する。

雪印メグミルク新工場はプロセスチーズとマーガリン類の主力生産拠点に

茨城中央工業団地

東北への供給拠点

シーズイシハラ（静岡県富士市、石原公雄社長、0545・31・1120）は、ペット用シートの生産拡張および顧客サービスの向上、東日本大震災復興支援の思いから、北関東自動車道の茨城町西インターチェンジ（IC）を囲むように造成され、首都圏や東北への供給拠点として最適な交通アクセスを評価して茨城中央工業団地進出した。ペットシート生産を昨年11月から順調に立ち上げ、4月には第一段の体制増強を1年前倒しで実施し、大量生産体制に移行した。来年早々には計画第二段の体制増強を前倒しし「生産量の増大と効率化ならびに配送拠点構築化の早期実現を目指す」（青木信寿経営企画室長）という。

「原子力災害周辺地域産業復興企業立地補助事業により、補助金の採択を受けたことで、事業着手への判断が容易にできたこと、操業開始後も相談しやすい環境があり継続的な企業活動を行う上で安心」（同）と評価している。

シーズイシハラはペットシート生産を増強

茨城県特集

『いばらき』への立地　補助金・特区など優遇制度が充実！

「茨城産業再生特区」による思い切った税制上の優遇制度！

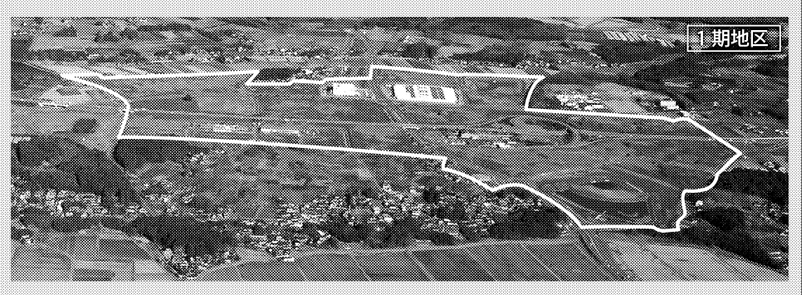
●沿岸部を中心とした13市町村　62の復興産業集積区域内
●法人税、固定資産税等最大で設備投資額の20%強が戻る大幅な優遇税制措置など

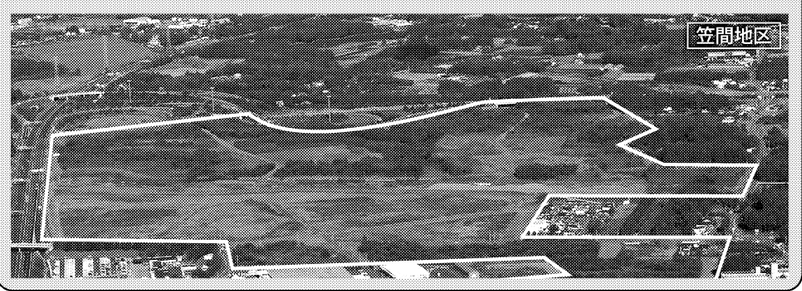
対象団地 ❶❷❸❺❻❼❽❿⓭

URL　www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/bugai/seisaku/sangyosaiseitokku.html

❼❽❾茨城中央工業団地（1期、2期、笠間地区）

◆常磐道・北関道の結節点。I.C.直結！物流・商業に最適！
◆小区画から大区画（30ha）まで対応可！　◆25,500円/㎡～
★「茨城産業再生特区」優遇税制適用可能（1期、2期地区）





「企業立地補助金」　総額 1700億円！

●津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金
●公募期間5月16日～7月14日　●補助率 ½～1/10
●土地＋建物＋設備 ＝ 最大限度額 30億円

対象団地 ❶❷❸❻⓭

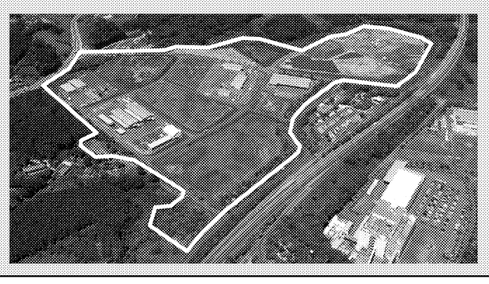
対象市町村　北茨城市、高萩市、日立市、東海村、ひたちなか市、水戸市、大洗町、鉾田市、鹿嶋市、神栖市

URL　www.indus.pref.ibaraki.jp

～～～ 東北地方へのアクセスも良好！ ～～～

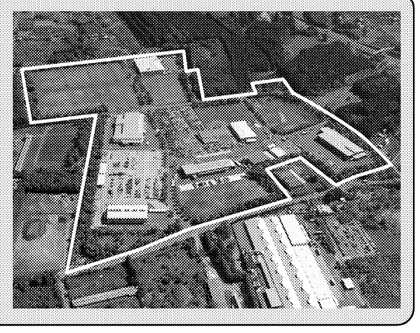
❶南中郷工業団地

◆常磐道高萩I.C.から約3km。絶好のアクセス。
◆分譲価格9,800円/㎡～と超安価！ 工業用水3年間無料！
◆団地特例により区画を有効活用可能。
★「企業立地補助金」・「茨城産業再生特区」優遇税制適用可能



⑩茨城工業団地

◆3本の高速道路、4つのI.C.を使用可能。国道6号にも至近。製造業はもちろん物流施設にも最適。
◆27,300円/㎡～
★「茨城産業再生特区」優遇税制適用可能



詳しくは、ネットで検索　いばらきの工業団地　検索

お問い合わせ先　茨城県立地推進東京本部　TEL 03-3243-0845
公益財団法人 茨城県開発公社 企業誘致課　TEL 029-301-7005